

オンライン面会のご案内

ご面会時間について

木曜・日曜・祝祭日以外の14時～16時
面会時間/10分程度

ご予約方法

下記のQRコードからLINEの「友だち追加」をして頂き、メッセージに日時、ご希望時間、病棟名、患者氏名、予約者氏名、続柄、携帯番号を記載して送信して下さい。
日程が決まり次第、当院より、メッセージを送らせていただきます。

当日予約は受け付けておりません。

尚、病状によっては医師の判断により面会を中止させていただくこともありますのでご了承ください。

ご利用対象者

面会者：LINEが使える端末機器を所持している、2親等以内のご家族、後見人、保佐人、または、主治医が特別に認めた方

問い合わせ先
医療法人同和会 千葉病院
庶務課 高橋・富田
TEL:047-466-2176



医療法人 同和会 千葉病院

【病院概要】

診療科
精神科・神経科・歯科（要予約）
院長
小松 尚也
外来診療時間
平日9:00～12:30（月曜日のみ9:30～12:30）
土曜日9:00～12:30（午後は予約制）
休診日
木曜日・日曜日・祝祭日・6月1日（創立記念日）
所在地
〒274-0822 千葉県船橋市飯山満町2-508
TEL:047-466-2176 FAX:047-466-7503
ホームページ://www.dchp2176.com
千葉県認知症疾患医療センター
TEL:047-496-2255 FAX:047-496-2256



千葉病院 患者様の権利

個人として、人格およびプライバシーが尊重されます。
安全な環境で、可能な限りの良質な医療が提供されます。
職員のいかなる行為に対しても説明を求め苦情を申し立てることができます。
精神保健福祉法に則った医療および処遇が保障されます。
職員から思想・信条・宗教および個人的関係は強制されません。
個人情報保護されます。

発行:医療法人同和会 千葉病院
発行日:令和5年1月
住所:千葉県船橋市飯山満町2-508
047-466-2176 Fax 047-466-7503
URL://www.dchp2176.com

編集後記

日本医療機能評価機構の病院機能評価は、2002年に当時の仙波恒雄院長が提案し、受審することになりました。自己満足に陥りがちなサービスの向上と、外部審査官からの助言による新しい知見の獲得は、当院の大きな財産となっております。



千葉病院広報紙 2022.冬号（第76号）発行 医療法人同和会 千葉病院

病院機能評価 再認定

当院では、2002年より、公益財団法人日本医療機能評価機構が行う「病院医療機能評価」を受審しています。

本年度は4回目の更新年となり、書類と訪問による審査を受けました。

6月に受けた訪問審査の様子は、本紙夏号(第74号)にて表題報告させていただきましたが、その後、指摘事項についての検討や書類審査を経て、昨年末、認定証を受けることができました。

当院は2002年より、「病院機能評価」を受審し、認定病院として活動しています。

この「病院機能評価」というのは、医療サービス提供機関としての機能を、第三者機関である公益財団法人日本医療機能評価機構が、書類審査および訪問審査によって審査するもので、認定されるとそれで終わりではなく、5年ごとに更新する必要があります。

総合病院などでは採用されることの多い評価基準ですが、現在、県内の精神科単科の病院で受審し認定を受けているのは当院のみです。

当院では、2002年の初認定以来、2007年、2012年、2017年と更新年を迎え、それぞれ審査形態やバージョンの異なる審査について受審し、認定を更新し、昨年、4度目の更新年を迎えました。

管理職員を中心に、受審に向けた検討会議を行い、また、実際の現場でもマニュアルの改正や設備の見直しなど、スタッフ一人一人が機能評価受審・認定に向けて準備を重ねました。

6月に行われた訪問審査では、審査官（サーベイヤー）から良い評価をいくつもいただきましたが、もちろんそればかりではなくハード面、ソフト面で課題となる指摘や提案も受けました。

今回、審査結果として「認定」を受け、これで2027年まで認定病院となりましたが、まずは指摘された事項を検討・改善し、より良い医療サービスを提供していくために、常日頃からの検討・研鑽を、職員一丸となって行っていきたいと考えます。

院長 小松尚也



認知症疾患医療センターについて

当院では、平成26年10月より、認知症疾患医療センターを併設しております。

「認知症疾患医療センター」とは、地域における認知症の専門医療機関として、早期発見、診断・治療、またかかりつけ医や介護施設との連携の中心となる施設のことで、

千葉県内では医療圏域ごとに開設されており、千葉病院は、心代会八千代病院(八千代市)とともに、東葛南部地区(船橋市・八千代市・市川市など)の認知症疾患医療センターとして開設・運営しております。

連載第4回目は、認知症疾患医療センターの地域連携、啓蒙活動を中心に報告いたします。

認知症疾患医療センターとしての当院の役割には、大きくわけて4つあります。

専門医療相談: 専門の相談員(精神保健福祉士)が、患者さんやご家族の認知症に関するお悩みについて電話や面接などでご相談を受けます。その結果、当院の受診あるいは適切な施設をご紹介させていただくこともあります

鑑別診断(初期診断): 認知症が疑われる患者さんに対して、医師による問診や、MRIなど各種検査を行って診断を行います。また、BPSDと呼ばれる周辺症状についても診察し、適切な治療を行います

地域連携: 八千代病院認知症疾患医療センター、および圏域を管轄する行政機関(地域包括支援センター、在宅支援センターなど)と、「認知症疾患医療連携協議会」を設置し、相談・支援の連携体制について検討を進めます。また、地域の医療機関(かかりつけ医)との会議や研修会を行い、連携を進めていきます

啓蒙活動: 上記のかかりつけ医を対象とした研修会のほか、福祉関係者や患者・家族、地域住民などを対象とした講演会や研修会を開催し、認知症に対する知識や理解を深める啓蒙活動を行います

地域連携については、年2回「東葛南部認知症疾患医療連携協議会」を行います。当院、八千代病院、および圏域6市の市役所担当者、地域包括支援センター担当者が集まり、支援体制の検討を進めています。また、船橋市内の医療機関(かかりつけ医)とも、ネットワークを構築して連携を密にしています。

昨年9月に当院で開催された連携協議会



啓蒙活動については、小松尚也センター長を中心に、さまざまな職種・媒体を利用して、認知症への理解・啓蒙を深めております。

残念ながら、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、この2年ほどは、当センター主催の講演会などが十分に開催できておりません。

ただ、小松センター長やスタッフが出張するかたちでの講演会や勉強会は徐々に開催されております。今後は感染状況なども踏まえたうえで、当センター主催の講演会なども開催を検討いたします。

認知症家族交流会で講演する小松センター長



千葉病院Drによる医療コラム 第43回

統合失調症の再発を防ぐために その1

千葉病院医師 島田侑佳

統合失調症は、決してまれな病気ではありません。約100人に1人の割合で発症する可能性があり、厚生労働省の患者調査(2017年)では、国内の統合失調症の患者さんの数は約79万人とされています。統合失調症とは、脳のさまざまな働きをまとめることが難しくなる病気です。長い経過をたどりやすいですが、新しいお薬や治療法の開発が進んだことにより、多くの患者さんが長期的な回復を期待できるようになっています。

統合失調症の症状は、幻覚や妄想などの「陽性症状」、意欲の低下などの「陰性症状」、臨機応変に対応しにくい「認知機能障害」に分けられます。症状の現れ方はさまざまです。患者さんご本人は、「不安でたまらない」「イライラする」「夜眠れない」「あやつられている」「周りから監視されている」「自分の言っていることが伝わらない」「他人の言っていることがわからない」などの感覚を持つことがあります。

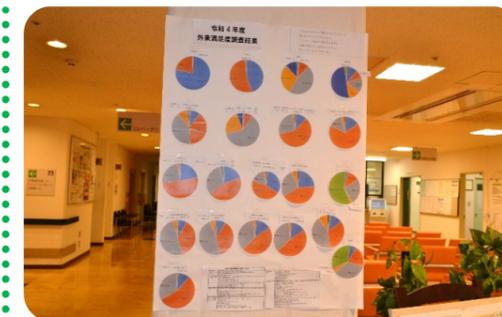
統合失調症の治療は、「薬物療法」「精神療法」「リハビリテーション」が3本柱です。薬物療法は、治療の中心になるもので、症状を改善し再発を予防します。精神療法は、ご本人とご家族を心理・精神面からサポートします。リハビリテーションは、身近なプログラムを通して、社会生活への復帰を目指します。社会生活スキル・トレーニング(SST)、作業療法、デイケアなどさまざまなプログラムがあり、医療機関や地域の精神保健福祉センター、自立訓練事業所などで行われています。

統合失調症は再発しやすい疾患であり、いかに再発を防ぐかがとても大切です。再発を防いでいくと、脳のはたらきやお薬の効果が維持され、ご本人の希望する生活ができるようになり、生活のしづらさも軽減します。再発を防ぐと、「イライラしなくなる」「よく眠れる」「勉強や仕事ができるようになる」「ご家族や友人が喜ぶ」「再入院しなくてすむ」などのメリットがあります。一方で、再発を繰り返すと、「薬が効きにくくなる」「以前通りの状態や機能を再確立しにくくなる」などのデメリットがあります。

再発を防ぐためには、お薬をきちんと続けること、再発サインに早く気づくことが重要です。今回は のポイント、次々回は のポイントについてお話しします。

外来満足度調査を行いました

- 10月中旬に、外来満足度調査を実施しました。
- コロナ禍だったこともあり、およそ2年ぶりの実施でしたが、203名の患者様から回答をいただきました。
- 多くの方に満足と評価を受けておりますが、まだまだ課題も多くあり、皆様に快適な外来環境を提供できるよう、これからも努力していきたいと思っております。
- 今回も外来待合ロビーに調査結果を掲示しました。



- Q. 診察までの待ち時間について
とても長い...9%、長い...39%、普通...39%、気にならない...10%、全く気にならない...2%、回答なし...1%
- Q. プライバシーへの配慮はされているか
とても配慮されている...11%、配慮されている...60%、どちらともいえない...26%、配慮されていない...2%、とても配慮されていない...1%、回答なし...1%
- Q. 外来スタッフの接遇について
とても満足...21%、満足...52%、普通...24%、不満...2%、とても不満...1%、回答なし...1%

